

令和8年度 山梨県立北杜高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年9月17日(木) 15:30～

2 場 所 北杜高等学校 大講義室(本館3階)

次 第

司会(教頭)

(1) はじめのことば (司会)

(2) 学校長あいさつ

(3) 議事(会長)

① 業務改善に係る内容について(校長)

② 学校評価・中間評価の結果について(校長)

③ ネクストハイスクール構想について(校長)

(4) 分科会

① 生徒支援部会 ② 生徒育成部会 ③ 教育広報部会

① 生徒支援部会

◆協議内容

生徒の学習環境の充実や学校の魅力向上、地域との連携について協議を行った。

◆主な意見

1 教育環境の整備について

○施設・設備の充実には相応の財源確保が必要である。

2 地域・行政との連携について

○学校だけで課題を解決するのではなく、教育委員会や自治体、地域企業と連携して支援体制を構築することが重要である。

○地域全体で子どもたちを育てるという視点を大切にすべきである。

○地域の企業等得意分野があるので、環境整備等について具体的なプランを示して地域や企業に助けを求めてはどうか。

3 キャリア教育の充実について

○インターンシップや企業交流、体験学習を充実させ、地域産業や職業に対する理解を深める機会を増やす必要がある。

○卒業生や地域で活躍している人材から話を聞く機会を設けることが有効である。

4 学校の魅力向上について

○部活動や特色ある活動を充実させ、学校の魅力づくりにつなげる必要がある。

○生徒が活躍できる場を増やし、地域から応援される学校づくりを進める

べきである。

まとめ

県立高校だから北杜市としてどうにかしたいが難しいのは現実。しかし、少子化が進む中、地域で子どもたちを育てていくという視点は大切との意見が多い。

教育環境の整備を進めるためには学校が何を必要としているのかを具体的に提示してほしい。

地域・行政・企業との連携を強化し、体験活動やキャリア教育の充実を図ることが重要である。

また、特色ある教育活動や部活動の活性化を通して学校の魅力向上を目指すべきとの意見が示された。

②生徒育成部会

◆協議事項

「卒業後も自分で考え、判断し、行動できる自律・自立した生徒」の育成について協議を行った。

◆主な意見

1 自律・自立した生徒の育成について

○自律・自立とは、進学や就職だけでなく、変化の激しい社会の中で自ら課題を見だし、考え、判断し、行動できる力を身に付けることである。

そのためには、多様な経験や体験を通して適応力・順応力・対応力を育成することが重要である。

2 キャリア教育・地域連携について

○インターンシップや職場体験は、職業観や勤労観を育み、主体的な進路選択につながる有効な取組である。

○地域との連携を深めながら、生徒が地域社会や産業について理解を深める機会を充実させることが重要である。

3 学校行事・部活動について

○学校行事や部活動は、自律性や協調性、責任感を育む重要な教育活動である。

○少子化や働き方改革を踏まえ、近隣校との合同活動や交流なども含め、活動の在り方を柔軟に検討していく必要がある。

○改革に当たっては、生徒や保護者への丁寧な説明と合意形成が重要である。

4 北杜高校らしい学びについて

○「食杜北杜」、商品開発、探究活動は、生徒が主体的に学び、地域と関わりながら課題解決に取り組む特色ある教育活動として評価された。

○これらの活動は、生徒の自己有用感や達成感を高めるとともに、学校の魅力発信にもつながっている。

5 体験活動の充実について

- 保護者からは学校行事や体験活動の充実を望む声が多く、生徒が多様な経験を積む機会を確保することが重要であるとの意見が出された。

まとめ

生徒育成部会では、「卒業後も自分で考え、判断し、行動できる自律・自立した生徒」の育成を目標として確認した。その実現に向け、キャリア教育、地域連携、学校行事、部活動及び探究活動を相互に関連付けながら、多様な経験を通して主体性や社会性を育む教育活動を充実させていくことが重要であるとの認識で一致した。

③教育情報部会

◆協議事項

北杜高校の魅力発信及び学校の強み・課題について

◆主な意見

1 学校の強み・特色について

- 農業教育や自然豊かな教育環境は北杜高校の特色である。
- 学校の魅力や特色が地域や中学生、保護者に十分伝わっていないのではないか。
- 生徒や卒業生が北杜高校を選んだ理由を把握し、学校の強みとして整理することが必要である。

2 生徒・卒業生の声の活用について

- 学校の魅力や課題を把握するため、在校生や卒業生へのアンケートを実施してはどうか。
- 志望理由や入学後に感じた魅力、改善点などの意見を今後の学校づくりや広報活動に生かすべきである。

3 情報発信の充実について

- 学校ホームページに加え、動画等も活用しながら積極的に情報発信する必要がある。
- 生徒の活動や成果について、地域紙やマスコミとの連携を図りながら発信してはどうか。
- 商品開発や販売活動、部活動、学校行事等の取組を継続的に紹介することが重要である。

4 オープンキャンパス・学校行事の活用について

- オープンキャンパスは学校の魅力を伝える重要な機会である。
- 学校説明だけでなく、体験活動を充実させることが有効である。
- 学園祭や収穫祭等への中学生の参加を促し、学校の雰囲気を経験できる機会を増やすべきである。

5 地域との連携について

- 地域施設や団体との連携をさらに推進し、生徒の活動を地域とともに発信していくことが望ましい。

○地域イベントや地域メディアを活用し、北杜高校の取組を広く周知することが必要である。
まとめ

北杜高校の特色や魅力を整理するとともに、生徒・卒業生の意見を把握し、オープンキャンパスや学校行事、地域との連携を活用した情報発信の充実を図る必要があるとの意見で一致した。

(5) 今後の予定

- ・第3回学校運営協議会

令和9年2月16日（火）15:00～（予定）

(6) おわりのことば（司会）